

山行報告書

日時	2025年7/18(金)～7/23(水)		天候
山名	後立山連峰:白馬岳～唐松岳縦走(猿倉～白馬大雪渓～不帰ノ嶮～唐松岳～八方尾根)		
CL	eijis483	参加者	SL: T坂、tomo
7/18(金) 晴れ	各自宅19:30→高坂PA(仮眠)		
7/19(土) 晴れ	高坂PA→前泊民宿18:30(途中中央道で工事、事故渋滞で約2時間程度ロス)		
7/20(日) 晴れ	民宿5:00→八方第5駐車場(無料)5:15→八方バスターミナル6:00→猿倉登山口6:45→白馬尻小屋7:45→白馬岳頂上宿舎12:40→白馬岳14:00→白馬岳頂上宿舎14:50		
7/21(月) 晴れ	白馬岳頂上宿舎4:15→杓子岳5:56→白馬鍵ヶ岳7:13→天狗山荘8:23→天狗の頭8:48→不帰ノ嶮12:44→唐松岳13:53→唐松岳頂上山荘14:05		
7/22(火) 晴れ	(唐松岳頂上にてご来光)→唐松岳頂上山荘6:30→丸山ケルン7:28→八方池8:50→八方池山荘9:45→ゴンドラにて下山後入浴(八方の湯)→途中泊SA(高坂PA)→太宰府IC10:30		
(コメント) CL eijis483	白馬大雪渓は近年雪不足によりクレバスが発生するなど早々に通行止めになることも多く、数年越しの念願かなってやっと行くことが出来ました。 天気にも恵まれて予定通りの行動が出来、大変思い出深い登山になりました。 前泊白馬村の民宿から八方第5駐車場に5時過ぎには到着しましたが、すでにほぼ満車で運よく丁度出てゆく車の空いたスペースに駐車することが出来ました。 八方バスターミナルまでは徒歩2、3分の距離でこの駐車場は無料でお勧めです。 八方バスターミナルからは猿倉までバスに乗り換え出発、事前情報では道路崩落により猿倉荘手前1kmまでしかバスが入らないとのことでしたが、またまた運よく前日に工事終了し、猿倉荘前までそのままバスで行くことが出来ました。 ただし、今シーズンは猿倉荘まではバスかタクシーのみの通行が可能で一般車は通行不可とのことでしたので、今後注意が必要です。 *初日 猿倉荘から約1時間ほどは樹林帯をすすみ、その後いよいよ大雪渓です。 大雪渓は昨シーズンの降雪の多さが幸いし、残雪も多く快適に進めました。 ただし、数日前も落石事故があったばかりで私たちも慎重に進みました。 雪渓の通過に際し、滑り止めを何にするか悩みましたが、白馬村の公式HPには今のところは前爪ありのタイプを勧めますとのことで12本刃アイゼンを持参しましたが、廻りを見た感じでは、上記タイプを使っている登山者は約1,2割程度しかいなかった。 ただ、チェンスパイクなどの軽アイゼンを履いた登山者はズルッと滑っている方も多く、踏ん張るストレスや安全面を考えると12本刃を持って行って正解でした。 雪渓上部では噂通りのお花畑ラッシュで色とりどりの花々が迎えてくれました。 この日は頂上宿舎に着いた後、ザックをデポし白馬岳ピストン後行動修了しました。 *2日目 午後から雷雨の予想もあり、当初計画を約1時間ほど早め4時過ぎに山荘を出発。 白馬三山の杓子岳、白馬鍵ヶ岳を通過し天狗山荘で小休止。 ここは小屋横に雪渓、水場があり水量豊富で美味しい水を無料で確保出来ます。		

	その後天狗の大下り経由して不帰嶮へと向かう訳ですが、大下り前にヘルメット着用し、不帰嶮前ではストックもしまい、慎重に進みました。 肝心の不帰嶮ですが、下から見ると垂直の壁に見えますが、ルートはよく考えられていて、山肌の弱点を縫うようにしてトラバースしつつ登る感じでした。 ステップ、ホールドもたくさんあり、またハシゴ、鎖なども適宜設置してあり核心部通過後、不帰2峰北峰に問題なく到着。その後は唐松岳頂上までだらだら登る感じです。 3日目 この日は朝早めに起き、朝食前に唐松岳近辺にてご来光を眺めて、その後八方尾根から下山、最後はゴンドラを乗り継ぎ快適に麓まで降りました。 総括：心配していた天気の流れもなくとても快適な山行となりました。 同行いただいたメンバーの方々のおかげで、道中の車移動含めて楽しい山行となりました。 感謝申し上げます。 ルート全体の印象は、白馬から唐松へ南下するほうが天狗の大下り含めて通過しやすく、比較的安全に進むことが出来ると感じました。
費用概算	交通費¥41,500、宿泊代:前泊民宿+小屋2泊¥38,800 合計¥80,300 *移動中、下山後等食事含まず

山行報告書

(コメント) SL T坂	思い掛けずお誘い頂き、6年振りに北アルプス遠征に参加させて頂きました。 出発直前まで荷物をあれこれ出し入れしたり、天気予報とにらめっこしたりも懐かしく、心配半分、楽しみ半分で出発当日を迎えました。 快晴の大雪渓はたっぷりの残雪で、12本爪アイゼンが良く効き、8割方の登山者が軽アイゼンやチェーンスパイクで滑りながら登るのを横目に快適に登れました。 その日の宿、白馬頂上宿舎のバイキングは、事前に調べて楽しみにしていましたが、噂に違わずとても美味しく、この食事のためにまた泊まりたい！と思う程でした。 翌日は午後から雷の危険があるとの情報で、予定を1時間繰り上げて4時出発、杓子岳に向かう途中でご来光を拝みました。朝焼けの空が刻々と色を変え、青空になる様子に感動したのも束の間、日が昇った後はカンカン照りになり、予想外の暑さに汗だくになりながら歩きました。 天狗の大下りからは長い鎖場、ガレ場、ザレ場を300mも下り、無事に最低コルに着いて見上げると、良くあんな所を…と思う程の急斜面でした。 不帰ノ嶮は岩場、鎖場、ハシゴの連続ですが、ペンキマークはしっかりありました。破線ルートではあるものの3点支持を守り、マークを見失わないように歩けば、その部分だけを見ればそれほど難しくないと感じました。 ただし1日の行動時間が長く、アップダウンの連続に難所が混ざるので、安定して歩ける体力と、その場に応じた歩き方ができると安心だと思います。 9時間歩き倒した末にようやく唐松岳に辿り着いた時には、皆で無事に歩き通せたことに心から安堵しました。 翌朝には白馬岳から唐松岳まで延々と続く稜線を一望でき、3日間の山行の素晴らしい締めくくりになったと大満足で下山しました。 久しぶりのアルプスは、やはり圧倒的なスケールで、日常の登山とは全く違う世界でした。たくさんの景色に感動し、元気に山に登れるありがたさを痛感した遠征となりました。 いつも朗らかな晴れ男友田さん、情報収集を怠らず山行全体が安全で快適なものになるよう気を配ってくださる定行リーダー、お二人のお陰で3日間絶景を眺めながら楽しく歩けたこと、本当に感謝しています。ありがとうございました
tomo	7/18夜出発、福岡からアイサイトで約13時間かけ安曇野の民宿上屋敷到着。 今回の登山ルートは、白馬大雪渓から白馬岳・杓子岳・白馬鍵ヶ岳・唐松岳縦走し、八方池のゴンドラにて下山する2泊3日。7/20猿倉登山口着、ここから1時間ほど歩いて白馬大雪渓の入口に着き、アイゼン・ヘルメットを装着して登り始める。 稜線までの「雪渓歩き」、これをやりたかった。7月に雪渓を歩く、九州では考えられない。快晴で照りつける日差しは眩しいものの足元から冷気があがってくるため快適に歩ける。 雪渓は落石の多発地帯でもあるため、歩き疲れても腰を下ろしての休憩はダメとリーダー。確かに時折ガラガラと落石が聞こえる。気温が上がり、雪が緩んでくると足取りも重くなったが、雪渓の上部に咲き乱れる高山植物の美しい姿に励まされ、無事に村営白馬岳頂上宿舎に到着した。夢中で登ってきた大雪渓もここで終了。 大雪渓と青空のコラボは約1時間50分。楽しかったなあ。 この思い出だけでしばらくは涼みそう。 荷物を宿舎に置き白馬岳へピストン20分ほどで頂上到着、お待たせしました名峰白馬岳2932m、貴方に会いたくて来ましたよ。槍ヶ岳、劔、立山連峰を仰ぎながら、`息吹`で名峰の精を頂く。 7/21の4時出発で杓子岳、白馬鍵ヶ岳、唐松岳縦走。不帰キレットは、天狗ノ頭と

	唐松岳を結ぶ難易度の高い登山ルートとの事で、険しい岩場や鎖場、断崖絶壁などがひたすら続く。ヘルメット装備で注意深く進めとリーダー。確かにハードだったが、雄大な光景とコース途中に現れるお花畑は絶品だ。 「花を見ながら登りましょう」と爽やかmotoさん。チングルマとウルップ草を覚えました。今回コースの反省点、山小屋泊時の荷物は少なくとも7~10 kで「数 g のチリツモ」を意識し軽量化を図る、でした。 このかけがえのない瞬間を共有して頂いたリーダー、motoさんに感謝します。
費用概算	交通費 ¥ 30,000 、宿泊費小屋2泊+下山後ホテル ¥ 34,500 合計 ¥ 64,500 *移動中、下山後等食事含まず

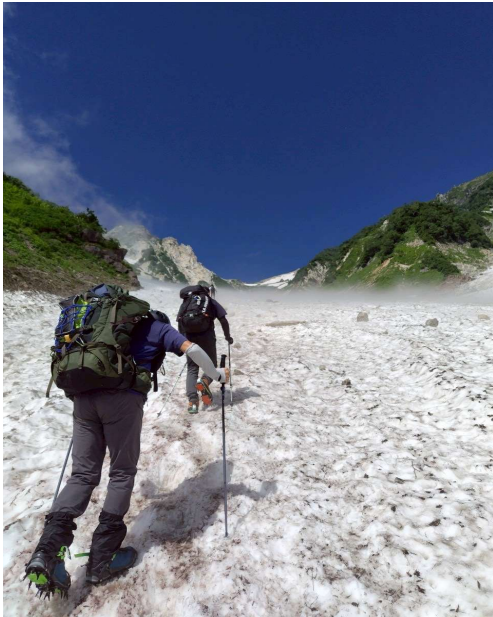
*初日:八方第5駐車場 晴天です



*いよいよ大雪渓始まりです



* 冷気の中、すこしづつ高度を上げます。



* 雪渓上部葱平過ぎ、トラバースしたら雪渓は終わりです



* 名前が面白い:ウルップ草



* 可憐なコマクサ



* 頂上山荘に到着。背景に翌日の縦走路が良く見えます



* 雪渓上部はお花畑でした



* 小屋到着後白馬岳にピストン



* 2日目:向かう方向右手に剣、立山連峰



* 気持ちの良い稜線歩きです



* 順調に杓子岳に到着 白馬岳を背に



* 杓子岳から左からハケ岳、富士山をはさみ、南アルプス



* 白馬鑓ヶ岳まで来ました。



* 白馬鑓あたりから～三人の影が楽しげです



* 2峰北峰までが核心です



* 梯子も伝いながら



* いよいよ不帰ノ嶮へ向かいます



* 唐松岳に到着



3日目 * 唐松岳にてご来光: 歩いてきた稜線が良く見えます。



* 八方尾根下山 不帰の稜線が良く見えます



* 最後はリフトで楽々

